

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2020年 12月 12日
事業所名:	夢門塾ゆうゆう笠岡

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	5			・運動時間では人数調整し十分なスペースを確保し、交代しながら取り組んでもらっている ・運動ルームを使い広々と遊べるようにしている 自由時間に運動ルームを使い、距離を取って遊べるように工夫している。
	②	職員の配置は適切である	5			・できている
	③	衛生面の管理が行き届いている	5			・毎日掃除を行っている ・毎日決まった掃除時間がある ・掃除のチェック表を使い掃除場所を管理している
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	5			・毎日のミーティング、月1回の職員会議を行っている ・気づきがあればすぐに情報を共有している ・朝礼で児童の様子や変わったことを話し合っている ・すぐに改善できることは、即実行している。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5			・できている
	⑥	自己評価の結果を公開している	5			・している
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5			・職員会議時に研修を行っている ・毎月職員会議を行っている ・毎月職員会議を行っており、会議後に研修を行っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5			・6か月ごとに行っている
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5			・職員間で話し合いをし、計画を立てて実行している ・事前に打ち合わせを行い、役割分担を決めて行っている。 ・話し合いをして役割分担を決め、イベントを行っている。 ・前月までに活動内容を決め、計画・分担・打ち合わせを行い実行している
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	5			・季節に応じたイベントを計画し、実行している ・今年は外出イベントがなかなか出来ない状況だったため、室内で出来るイベントを毎月行っていた。 ・職員同士で話し合いをし、多様な活動が出来るようにしている ・季節にちなんだ工作や調理・イベントを行っている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5			・目的を設定し、室内で出来る取り組みを話し合って支援を行っている。 ・休日には平日に出来ない遊びや課題を考えて行っている ・長期休みにしかできないイベントを組み、取り組んでいる
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5			・集団に入りにくい児童には個別対応を行っている ・集団が難しい場合は、個別に声掛けを行っている
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・朝礼で話し合い、確認している ・朝礼時に話し合いをしている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・ミーティング時の記録および特記事項を記録している ・記録を振り返って確認し、気づきがあれば話し合っている ・朝礼時の話し合いを記録に残している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5			・6か月ごとに行っている ・モニタリング時には保護者のお話にしっかりと耳を傾け、支援計画を立てている
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5			・できている

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携を取る機会が増えており、情報を共有することが出来てきている ・学校との連携がスムーズにできるように、普段から準備をしている
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・対象者がいない ・よく分からない ・まだできていない。今後の課題である
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ該当者なし ・対象者がいない ・まだ対象児がいない・対象になる利用児がいない
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や行政(市子育て支援課)と連携がとれている ・出来ているが今年は研修の機会が減っているため、研修があれば参加したい ・相談支援とは密に連絡が取れている
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・心がけている ・できている ・気になる様子があればその都度お伝えしている。保護者の方から発信して伝えて来てくださることもある。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・できている ・契約時にきちんと説明を行っている。分からない点はいつでもご連絡くださいとお伝えしている
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・できている ・保護者様に時間の余裕があれば、相談室でお話を伺うようにしている
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	—	—	—	コロナ対策のため本年度は開催が困難であった
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・早めの対応を心がけている
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月おたよりを配布している
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・注意できている
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ対策のため難しい個々に対応させていただいている ・伝わりやすい言葉やツールを選んで対応している。 ・コドモン・電話などを設けている
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ対策のため難しい ・今年は地域のイベントが開催される機会が減ったので、来年落ち着いていれば参加したい。 ・今年はコロナの為、行事に参加することが難しかった。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や職員会議で話し合っている ・ミーティングで話し合いをしている ・感染症に関して研修を受け、全員に申し送りをしている
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・行事として取り組んでいる ・毎年2回以上行っている ・避難訓練を行事の一つに入れている
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・毎年研修を行っている ・職員会議で対策を考えている
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・対象の児童がいない ・そのような対象児がいない
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5			<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員周知し、念入りにチェックしている ・与薬表をホワイトボードに貼り、職員全体で周知している
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼でヒヤリハットについて話し合っている。改善策を考え実行している ・ミーティングで話し合いをしている

保護者様評価、自己評価についてまとめ

保護者様に評価していただくことによって、取り組むべき課題がはっきりした。例えば「活動プログラムが固定化しないような工夫が行われている」ではコドモンの報告が毎回同じような内容だと思う」との指摘があった。新しいイベントを行っているのに、伝え方によっては保護者様に上手く伝わっていない部分があると感じた。おなじく避難訓練も確実にしているが、周知されていなかった。今後は避難訓練の日数を増やしたりおたよりでしっかりとお知らせしていく予定だ。

・2020年度はコロナの影響で難しい部分があったが、保護者同士の交流や子どもたちの屋外での活動もコロナが終息に向かい次第計画していきたい。
 ・保護者様と職員サイドの認識にずれがある部分がある。モニタリング時やおたより、送迎時等、伝える手段を工夫しながらしっかりと連携していきたい。